

# 教育シンポジウム 現代GP中間報告会

主催：岡山県工学教育協議会、岡山大学現代GP

◆開催日：平成21年2月21日（土）

◆会場：岡山大学創立50周年記念館 多目的ホール（岡山市津島中1-1-1）

8：30－ 受付開始  
9：00－ 9：05 開会挨拶：岡山大学環境理工学部長・沖 陽子  
9：10－10：10 基調講演：岡山大学理学部准教授・三枝 誠行

入場無料  
学生聴講  
歓迎！

<基調講演>司会：岡山大学環境理工学部長・沖 陽子

## 「学際領域科学としての環境教育」

岡山大学理学部・三枝 誠行

10：20－11：40 講演発表会（岡山大学工学部，岡山理科大学，岡山県立大学，津山工業高等専門学校）  
13：00－14：40 岡山大学現代GP「晴れの国より巣立つ水環境スペシャリスト」中間報告会  
15：00－15：50 岡山大学現代GP 評価委員講評  
16：10－17：00 パネルディスカッション  
17：20－ 閉会挨拶：岡山大学環境理工学部副学部長・永井 明博

<三枝 誠行 先生 プロフィール>

昭和49年東京教育大学理学部生物学科卒業。昭和52年京都大学大学院理学研究科修士課程（動物学）修了。昭和55年京都大学大学院理学研究科博士課程（動物学）修了。昭和55年岡山大学教養部（講師）。昭和63年教養部助教授。教養部改組にともない理学部に移籍。現在、岡山大学理学部生物学科准教授。専門は、自然史科学，宇宙生物学，動物行動学など。

<基調講演内容>

現代社会の豊かで便利な生活の背景には、人口の急激な増大と、大量生産・大量消費・大量廃棄による地球規模での資源の枯渇と大規模な自然破壊がある。人間の社会は、これから地球の限られた資源を利用し、地球の自然と共生する道を選択する必要に迫られるだろう。自然との共生や融合を是とする価値観への転換をめざして、今私たちに最も必要とされる環境教育とはどのようなものか、また環境教育を通して大学でどのような人材育成が可能かを考える。

## ◆◆◆講演発表会プログラム◆◆◆

（座長：岡山大学環境理工学部副学部長・三宅 通博）

10：20－10：35 「低線量放射線環境安全・安心工学の研究教育拠点の形成」  
岡山大学工学部システム工学科・鈴木 和彦 教授  
10：40－10：55 「『バイオマス工学』を通しての環境教育」  
岡山理科大学工学部バイオ・応用化学科・滝澤 昇 教授  
11：00－11：15 「スポーツシステム工学科における実践的教育」  
岡山県立大学情報工学部スポーツシステム工学科・倉重 賢治 准教授  
11：20－11：40 「津山工業高等専門学校における環境教育の一例」  
津山工業高等専門学校機械工学科・藤原 敏 教授

<会場までのアクセス>

- 岡山駅から岡電バス「津島営業所」行、「岡山大学筋」で下車、徒歩約7分
  - 岡山駅西口から岡電バス「岡山大学・岡山理科大学」行、「岡大西門」で下車
- ※駐車場に限りがありますので、可能な限り公共交通機関をご利用ください。

<お問い合わせ>

岡山大学環境理工学部・現代GP事務局  
〒700-8530 岡山市津島中3-1-1（環境理工学部内） TEL：086-251-8860

<現代GP「晴れの国より巣立つ水環境スペシャリスト」URL>

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/est/gendaigp.html>

